

株主の皆様へ

第 1 6 5 期 株 主 通 信

平成 2 3 年 4 月 1 日

▼
平成 2 4 年 3 月 3 1 日



ニッピ・レザー

nippi. incorporated

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第165期連結事業に関してご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の復旧関連需要が顕在化するとともに各種の政策効果などを背景に景気の持ち直しが見られる一方で、原発問題の長期化、歴史的な円高、欧州政府債務危機の影響などで景気の不透明感が増し、依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況のなかで、当社グループは主力商品であるコラーゲン・ケーシング、ゼラチン、ペプチドをはじめ、コラーゲン関連商品、皮革関連商品の拡販施策の展開を図り、利益体質の強化に努めてまいりました。

この結果、売上高・経常利益・当期純利益は増収・増益となりました。

これまで当社は、皆様方が潜在的に必要とするもののなかで、「よそでやらない」「人が気付かない」モノに注目し、さらに当社の技術力を駆使して高付加価値商品を作り上げてまいりました。これが「ニッピらしさ」とであると認識しております。今後もこのような多くの試みのなかからそれぞれの分野において第一人者となるような商品の開発に取り組み、社業の一層の拡大を図り、株主の皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいりたいと存じます。

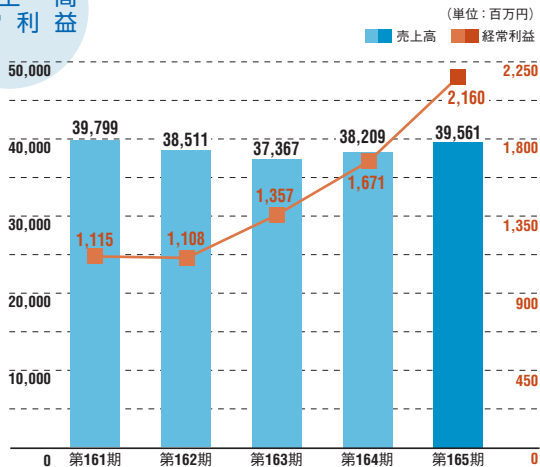
株主の皆様におかれましては、何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



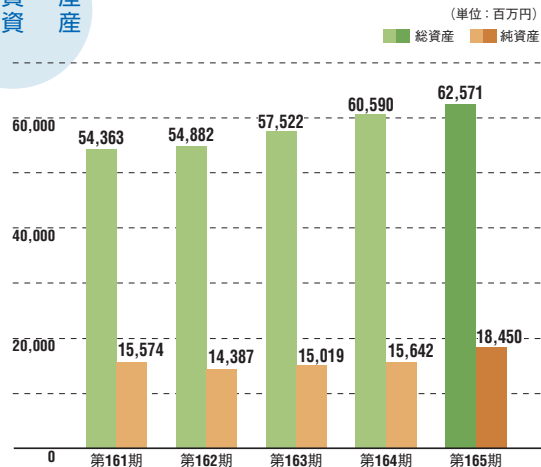
代表取締役社長
伊藤隆男

平成24年6月

売上高
経常利益



総資産
純資産



【トピックス】

- ゼラチン関連事業・化粧品関連事業の部門別利益は前年比大きく伸長しました。
- 持分法による投資利益の増加、土地区画整理事業終了に伴う剰余金の分配金受領等により経常利益および当期純利益が増益となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第165期 (平成24年3月31日現在)	第164期 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	19,123	18,404
固定資産	43,405	42,152
有形固定資産	39,377	37,279
無形固定資産	168	61
投資その他の資産	3,858	4,810
繰延資産	42	33
資産合計	62,571	60,590
負債の部		
流動負債	21,359	21,353
固定負債	22,762	23,594
負債合計	44,121	44,947
純資産の部		
株主資本	9,862	7,765
その他の包括利益累計額	8,175	7,489
少数株主持分	412	387
純資産合計	18,450	15,642
負債及び純資産合計	62,571	60,590

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第165期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	第164期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	39,561	38,209
売上原価	29,973	29,255
販売費及び一般管理費	7,174	6,737
営業利益	2,413	2,216
営業外収益	501	124
営業外費用	754	669
経常利益	2,160	1,671
特別利益	531	50
特別損失	144	433
税金等調整前当期純利益	2,547	1,288
少数株主損益調整前当期純利益	2,215	706
当期純利益	2,180	702

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科 目	第165期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	第164期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,819	1,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,951	△3,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,941	△583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△4
現金及び現金同等物の増・減(△)額	△191	△2,066
現金及び現金同等物の期首残高	3,841	5,907
現金及び現金同等物の期末残高	4,010	3,841

コラーゲン・ケーシング事業

今日、食品をはじめ、医療・医薬・美容などの様々な分野で注目を集めるコラーゲン。当社はこの素材をもとに日本で初めて可食性ソーセージケーシングの製品化に成功しました。以来、このコラーゲンを原料としたソーセージの皮“コラーゲン・ケーシング”の製造販売を行う国内唯一の、また世界第3位のメーカーとして活動しています。

ソーセージの皮としては、天然腸（主に羊腸）が主流でしたが、現在この羊腸が世界的に品薄状態となり値段が高騰しています。このような情勢のなかで、市場では羊腸からコラーゲン・ケーシング等への代替えが進行しており、当社でもこれらに対処するため、生産に対する中・長期的な投資と採算を検討し、生産力向上に取り組んでまいります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
第163期	8,146	1,249
第164期	8,357	1,534
第165期	8,173	1,461



A：コラーゲン・ケーシングのカラーバリエーション
B：コラーゲン・ケーシング使用製品

ゼラチン関連事業

ゼラチンは、溶液をゲル化させて粘性を付与させるために使用されています。口溶けが良く、離水性が少なく、透明感のあるゼリーに仕上がることがゼラチンゼリーの特徴です。ゼラチンは食品、医薬、写真等幅広い分野で利用されており、特に最近では、コンビニエンスストアの弁当や惣菜等のレンジアップ商品への利用が増えています。

静岡県富士宮市にある当社工場では、牛、豚、魚等を原料とした高品質のゼラチンおよびコラーゲン・ペプチドを製造しています。ゼラチンの使用方法としては、水で膨潤させたのち加熱するのが一般的ですが、当社では、独自に開発した膨潤させる必要のない「スーパーゼラチン」や冷水でも溶ける「MAXゼラチン」も取り扱っています。今後もお客様のニーズに対応した高品質の商品を提供することで一層のシェア拡大を図ってまいります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
第163期	8,641	598
第164期	8,279	791
第165期	8,561	899



A：レンジアップ商品例
 B：MAXゼラチン使用例
 C：MAXゼラチン(MAX-F)

化粧品関連事業

当社グループのコラーゲンを用いた化粧品は、単に表面的な美しさを演出するものではなく、「肌そのものを健康にし、体の内面からの美しさへ」との願いから生まれました。その代表的な商品が好評を得ております“生コラーゲン”を主成分とした基礎化粧品「ニッピーコラーゲンスキンケアクリーム ナノアルファ」です。健康食品の「コラーゲン100」ともども皆様の健康づくりのお手伝いをさせていただきます。



スキンケアクリーム

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
第163期	4,199	994
第164期	4,393	864
第165期	4,812	1,091

皮革関連事業

皮革事業は、創業以来当社の主幹事業であるとともに、当社業容多様化の礎となりました。現在の当社の支柱事業であるコラーゲン関連事業も皮革研究の周辺から生まれました。

現在の皮革事業は、業界におけるコスト競争に勝ち抜くため、生産拠点を海外に拡大し、とりわけ車輻用革の最終仕上げ工場として中国杭州に設立した海寧日皮皮革有限公司の増産体制の確立と品質向上に取り組んでおります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
第163期	9,008	198
第164期	10,026	156
第165期	10,697	158



革巻きステアリング

不動産・賃貸事業

当社周辺再開発地区「ポンテグランデTOKYO」の開発事業は着々と進んでおり、周辺からの注目も集まるようになりました。今後、当社保有土地の事業展開を優位に推し進めるためにもPR活動に取り組んでまいります。また、現在保有する遊休土地における暫定の賃貸事業も継続的に収益確保できるよう努めてまいります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益
第163期	472	279
第164期	485	275
第165期	430	191



食品その他事業

生活関連物資を取り扱っている貿易部門は、建材・穀物・イタリア関連食材の輸入・販売の拡大を図るため新規顧客の開拓に注力しております。また、リンカー・化成品部門およびその他事業のBSE検査キットの販売等においても安定的な収益確保に努めてまいります。

(単位：百万円)

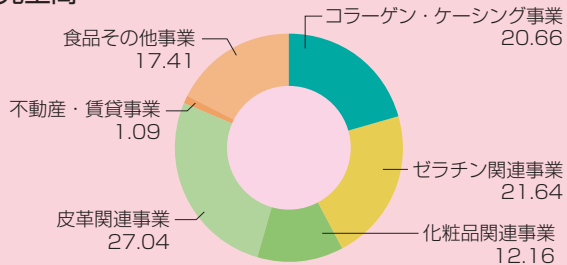
	売上高	営業利益
第163期	6,900	210
第164期	6,666	100
第165期	6,886	210



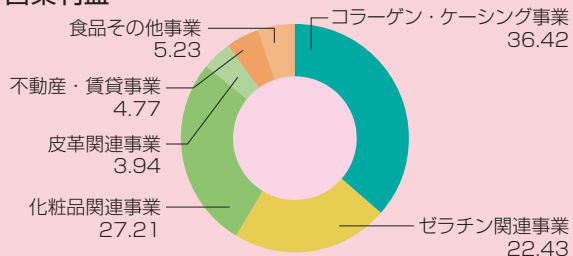
ニッピブルBSE検査キット

セグメント別占有率 (%)

売上高



営業利益



バイオマトリックス研究所

当社の研究は皮革の分析からスタートし、その後皮の主成分であるコラーゲン・ゼラチンの基礎研究とその応用に広がりました。

現在はコラーゲンに代表される細胞外マトリックスの精緻な機能の解明を中心的な研究テーマとしております。その研究成果を生かして、医療や化粧品・健康食品などの数多くの分野の応用開発も進めております。



バイオマトリックス研究所
(取手市)

(平成24年3月31日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社ニッピ
設立年月日	1907年(明治40年)4月1日
資本金	35億円
従業員数	590名(連結対象会社合計)
本社	東京都足立区千住緑町1-1-1
主な事業内容	コラーゲン・ケーシング、ゼラチン、その他コラーゲン関連製品の製造販売および皮革関連製品等の販売
ホームページ	http://www.nippi-inc.co.jp/
主要取引銀行	みずほコーポレート銀行 三菱東京UFJ銀行 みずほ信託銀行 三井住友銀行

(平成24年6月26日現在)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	伊藤隆男
常務取締役	石井英文
常務取締役	吉原道博
取締役	一蝶彬
取締役	河村桂作
取締役	新谷隆行
取締役	藤井睦雄
取締役	岩崎幸次郎
監査役(常勤)	関田安彦
監査役(常勤)	山田芳郎
監査役	大倉喜彦
監査役	伊藤敬四郎

(平成24年3月31日現在)

■ 株式の状況

発行可能株式総数 48,000,000株

発行済株式の総数 11,951,033株
(自己株式48,967株を除く)

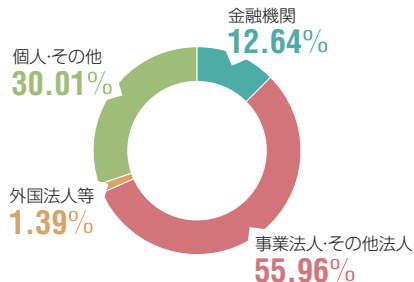
株主総数 1,068名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社リーガルコーポレーション	2,787	23.33
大成建設株式会社	700	5.86
中央建物株式会社	582	4.87
株式会社ホテルオークラ	553	4.63
東京建物株式会社	500	4.18
株式会社みずほコーポレート銀行	349	2.92
みずほ信託銀行株式会社	300	2.51
特種東海製紙株式会社	250	2.09
株式会社三菱東京UFJ銀行	210	1.76
JST株式会社	183	1.53

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示しております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率



■ 本社外観



HPのご案内



<http://www.nippi-inc.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 基準日	毎年6月 定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める
配当金受領株主確定日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
1単元の株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 （郵便物送付先） （電話照会先）	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

【株式に関するお手続きについて】

1. 証券会社等に口座を開設されている株主様は、住所変更、買取請求その他お手続きおよびご照会は、口座のある証券会社等（口座管理機関）宛にお願いいたします。
2. 特別口座に記録されている株式につきましては、上記の郵便物送付先および電話照会先にお問合せください。なお、みずほ信託銀行株式会社本店・全国各支店およびみずほインベスターズ証券株式会社本店・全国各支店でもお取扱いいたします。
3. 未払配当金の支払、支払明細発行につきましては、上記の郵便物送付先および電話照会先にお問合せください。また、株式会社みずほ銀行においても未払配当金の支払事務の取扱いを行っております。

お問合せ先

株式会社 **ニッピ**

〒120-8601 東京都足立区千住緑町 1-1-1 TEL 03-3888-6651

表紙写真：ニッピ・レザー

